地域別プロジェクト 01
長崎・西彼地域

内外から人が集う「DEJIMA」再び

長崎は100年に1度のリニューアルを迎え街なみが一変。
観光、情報産業で賑わうビジネス／コンベンションエリアに

POINT! 新幹線開業や長崎駅周辺の開発により、劇的に「まち」が変わります!

令和4年度の九州新幹線西九州ルートの開業に伴い、長崎地域は終着駅効果を発揮し、持続的な観光客の拡大が見込まれます。
あわせて長崎駅周辺の整備が進み、新駅ビルの開発やMICE施設の整備、大手ホテルの進出など、「まち」の佇まいが大きく変わります。

相次ぐ外資系ハイクラスホテルの進出

JR九州が整備する新長崎駅ビルにはハイクラスホテルが進出する予定です(2025年)。

『出島メッセ長崎』開業(2021年)

これまで開催できなかった規模の学会や大会、魅力的なイベントが開かれます。多くの訪問客を呼び込むとともに、滞在・周遊を促進し、まち全体でMICEを受け入れることで地域経済を活性化させます。

日本唯一!

©ジャパネットホールディングス

スタジアム併設ホテルも誕生

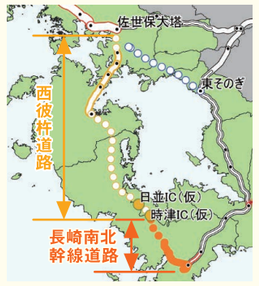
ジャパネットグループ/㈱リージョナルクリエーション長崎による「長崎スタジアムシティプロジェクト」も始動(2023～2024年竣工)。隣接するサッカースタジアムは、近年のMICEに不可欠なユニークベニューの素材としても効果を発揮します。

長崎港松が枝
国際観光船埠頭の2バース化
クルーズ船修繕事業の拠点化

大型クルーズ船が2隻同時に接岸可能となり、受入機能が拡大します。
また、三菱重工がクルーズ船修繕事業を受注。国際クルーズ拠点の形成と連携した、地域の主力産業である造船業を活かした国内初のクルーズ船修繕事業の拠点化を進めています。

POINT! その他の地域でもプロジェクトが進行しています!

交通網の整備で通勤圏・商圏が 拡大



佐世保と長崎を結ぶ地域高規格道路「西彼杵道路」「長崎南北幹線道路」が整備されることにより、大村湾を囲んだ広域での経済活動が促進されます。

肥前大島港の整備

西海市では、地域の造船産業の競争力を強化するための港湾整備、12.1haの工業団地造成が行われています。

POINT! 大企業のICT／AI／IoTの研究開発拠点の進出ラッシュに沸く長崎

◆**富士フイルム** FUJIFILM Creative AI Center「Brain(s)TM九州」 ※丸の内の拠点に次ぐ国内2カ所目
長崎大が持つ土木工学や社会インフラ維持管理の知見と富士フイルムが持つ画像解析やAI技術を組み合わせ、社会インフラの点検に向けたAI技術を共同開発。

◆**京セラコミュニケーションシステム** 「長崎 Innovation Lab」
AI、IoT、セキュリティなど先端事業の研究開発拠点で、多様な働き方に対応するモデルオフィス。

その他にも続々進出!

IT人材供給力の強化がさらなる進出を加速化!
- 長崎県立大学の情報セキュリティ学科…全国初の専門学科。
- 長崎大学の情報データ科学部…データサイエンティスト養成教育機関。

プラスONE

知恵や工夫を凝らしたソフト面での取組

より効果を高めるため、まちづくりのハード整備を活かしつつ、内外の人々を誘引し、訪れたい、住み続けたいと思うような知恵や工夫を凝らしたソフト面の取組が必要である。

産学官による連携強化と「人材」「研究成果」の集積

企業が進出するだけに留まらず、産学官連携によるスマートシティや大規模プロジェクトなどの実証実験を、長崎市を舞台に地元・進出企業や大学と連携して進め、人材や研究成果の集積を進めることが必要である。

期待される 相乗効果 連携

- 何度も訪れたくなる「まち」へ。
  交流人口の増加と観光消費の拡大。
- 特定複合観光施設(IR)認定が富裕層来訪の新たな呼び水になることが期待される。
  訪れる外国人を通じ、長崎の歴史文化遺産が評価され、長崎の発信力が強化される。
- 社会課題・地域課題を情報技術などのITソリューションで解決する先進県となり、長崎モデルとして発信することで、さらなる人材の呼び込みにつながる。